

※土地境界確認書を取り交わしている場合は、同書の甲乙に合わせる。

赤字部分を記入

土地境界確認日を記載

工 作 物 越 境 確 認 書

土地所有者名を記載

東京都（以下「甲」という。）と〇〇〇〇（以下「乙」という。）との土地の境界（令和〇〇年〇〇月〇〇日に確認）に関し、〇〇の工作物が越境していることについて、次のとおり確認した。

1 越境を確認した土地の表示

【甲】 〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇

土地の所在、地番を記載

【乙】 〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇

2 甲及び乙の土地、並びに〇〇の工作物との状況 別添越境図のとおり

3 現地確認日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

越境工作物確認日を記載

4 現地確認者

【甲】 警視庁総務部施設課
氏名 〇〇〇〇

現地確認者名を記載

【乙】 東京都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇
氏名 〇〇〇〇（〇〇〇〇の委託者）

現地確認者※の現住所・氏名を記載
（土地所有者以外の場合は、さらに関係を括弧書きで記載）
※行政の場合は、所属と担当者名を記載

5 越境物件

図面名称を記載

別添〇〇のとおり、〇〇の土地に〇〇の工作物（詳細）の一部が越境している。〇〇は、当該工作物改築の際に、自己の責任で越境状態を是正することとし、その是正方法については相互に協議するものとする。

6 確認書の継承

甲及び乙は、当該土地及び工作物を第三者に譲渡又は相続するときには、本書の内容及び地位を譲受人に継承させる。

7 その他

甲及び乙は、本書に定めのない事項については、誠意をもって協議の上、決定するものとする。

以上のとおり、甲及び乙は、本確認の証として本書〇部を作成し、それぞれ記名押印の上、各自その1部を保有する。

令和 年 月 日

両者の記名・押印がなされた日を協議成立日とするので、提出時は空欄とする

甲 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

東京都

代表者 東京都知事 〇〇〇〇

協議成立日に在職の東京都知事名を記載

乙 東京都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇

〇〇〇〇

実印

工作物所有者の現住所・氏名を記載し、押印